

天草市観光振興 アクションプラン

[2023(令和5)年度～2025(令和7)年度]

天草市

目 次

第1章	計画の策定にあたって P1
	Ⅰ. 計画策定の趣旨・位置付け
	Ⅱ. 計画期間
	Ⅲ. 計画の推進
第2章	観光を取り巻く現状と課題 P3
	Ⅰ. 現状と特性
	Ⅱ. 課題
	Ⅲ. 宿泊客数等の現状・推移
第3章	計画の基本的な考え方 P7
	Ⅰ. 目指す姿・テーマ
	Ⅱ. 目指す成果
	Ⅲ. 施策の体系
第4章	観光の振興 P9
	Ⅰ. 地域資源を活かし周遊・滞在・交流につなげる「魅力づくり」
	(1) 地域資源の磨き上げ
	(2) 観光消費額向上の取り組み
	Ⅱ. 周遊と滞在を促進する「観光インフラ」の充実
	(1) 市が所管する観光施設の現状と利活用
	(2) 観光客の受け皿の充実
	(3) 交通の利便性の向上
	Ⅲ. ニーズを把握し、誘客へつなげる「観光プロモーション」
	(1) データ収集と情報発信
	(2) 市民へ向けたプロモーション
第5章	アクションプラン策定と今後の検証 P23
	Ⅰ. 施策の提案について
	Ⅱ. プランの検証等について
	天草市 観光施設一覧 P24

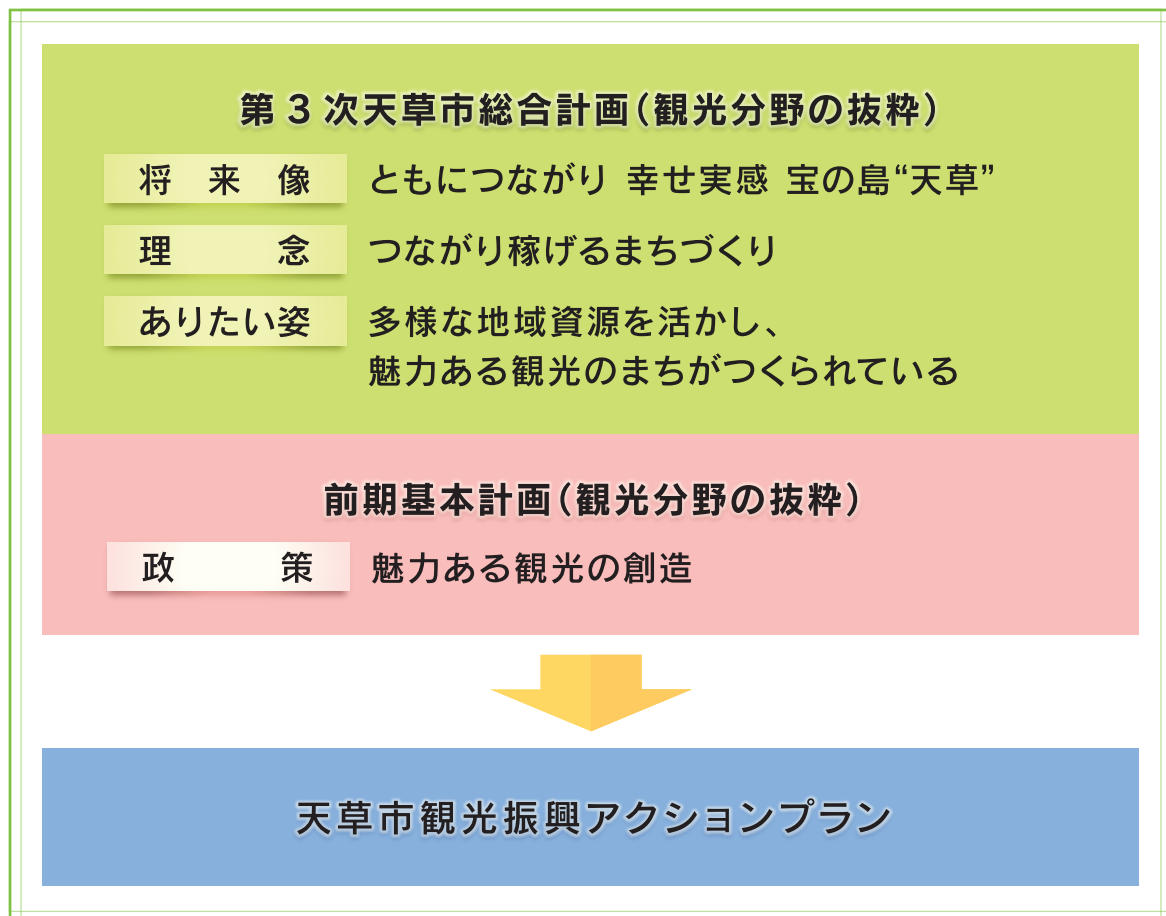
第1章 計画の策定にあたって

I. 計画策定の趣旨・位置付け

天草市では、2023(令和5)年3月に策定した“第3次天草市総合計画基本構想”において、将来像を「ともにつながり 幸せ実感 宝の島“天草”」と定め、これを実現するため「つながり稼げるまち」を理念の一つとして定めています。また、この理念に基づく観光分野のありたい姿を「多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている」と定めています。

この基本構想を具体化するために、令和5年度から令和7年度を計画期間とする前期基本計画では、将来像を実現するための観光分野の政策を「魅力ある観光の創造」と設定し、政策の実効性を高めるため、観光振興施策に関する分野別計画である「天草市観光振興アクションプラン」を策定しました。

■天草市観光振興アクションプランの位置付け



II. 計画期間

本プランの計画期間は、2023(令和5)年度から2025(令和7)年度までの3カ年とします。

Ⅲ. 計画の推進

＜観光振興の主体と役割＞

本市の観光振興施策を実施、推進していくためには、観光協会、事業者、市民や地域づくり団体、行政が、それぞれ連携を図りながら取り組みを進めていく必要があります。そのため、本プランの推進にあたり、各主体に期待される役割を次のとおり示します。

観光協会

天草宝島観光協会は、本市の観光振興を推進する中核として、行政や市民・地域づくり団体、事業者などの関係機関と連携・調整を図り、主体的な事業展開（観光客の誘致促進、天草の魅力開発など）が期待されます。

事業者

観光事業者
交通事業者
宿泊・飲食事業者
商工業者
農林漁業者など

観光産業の担い手として、観光客に対するおもてなしなどの各自が持つスキルやノウハウの向上、事業者同士の連携強化、観光協会や行政との連携により、天草の魅力向上の中心となることが期待されます。

市民・地域づくり 団体

まちづくりの主役・担い手として、地域素材の発掘や磨き上げを通して郷土への愛着を持ち、地域の歴史・文化への理解を深めていくこと、地域情報の発信などが期待されます。

また、観光客との積極的な交流を深めるとともに、それぞれの立場に応じた自主的かつ積極的な観光まちづくりへの参画が期待されます。

行政

市の関係部局はもとより国・県をはじめ、関係自治体や観光協会、市民・地域づくり団体、事業者との協議や調整を行い、天草市総合計画や本プランに基づく観光振興施策を推進するとともに、それぞれの主体が自主的に取り組む観光振興事業を支援していきます。

また、観光拠点や観光施設の充実を図り、「魅力ある観光の創造」を推進していきます。

第2章 観光を取り巻く現状と課題

I. 現状と特性

本市は、熊本県の南西部に位置し、東シナ海・有明海・八代海(不知火海)の3つの海に囲まれた天草諸島内にある、天草上島・下島の一部、御所浦島などで構成されています。暖流の影響で、海岸部の一部に無霜地帯があるなど冬は暖かく、夏は比較的涼しい地域です。人口は75,783人(令和2年国勢調査)、総面積は683.82km²(令和4年4月1日現在、国土地理院)で県下最大となっています。産業は、温暖な気候を活かした農業や、豊かな水産資源を活かした漁業を主として発展してきました。



2018(平成30)年7月、「天草の崎津集落」が長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の構成資産の一つとして世界文化遺産に登録されました。この天草の崎津集落に代表されるキリシタンの歴史や南蛮文化をはじめ、年間を通じて野生のイルカが棲息する自然環境、雲仙天草国立公園にも指定されている美しい景観、国内で最大級の肉食恐竜の化石が発見された恐竜の島、特色ある農林水産資源を活かした食文化、牛深ハイヤをはじめとする伝統芸能、国内の陶石生産の約8割を占める天草陶石を使ってつくられる天草陶磁器など、魅力ある多種多様な地域資源に恵まれています。これらは他の地域にはない特筆すべき観光資源です。

県庁所在地の熊本市から、天草市役所本庁舎のある本渡まで自動車でも2時間ほど、最南端の牛深まではさらに1時間ほどを要します。市内には5つの道の駅をはじめ、キリシタン文化関連の資料館、白亜紀資料館などの観光拠点施設があり、旅行者の誘客、情報発信を行っています。また、空港・港湾の機能面では、福岡空港や熊本空港等とつながる天草空港や、海の玄関口として長崎県とを結ぶ鬼池港、鹿児島県とを結ぶ牛深港・中田港などが整備されており、交通の拠点となっています。

II. 課題

全国的な傾向と同様に本市においても人口の減少や少子高齢化、過疎化などが進んでいます。今後、経済活動の循環や市内各地域の活性化を図っていくためには、観光客などの交流人口を増加させることが重要ですが、その手段の一つとして観光の振興によるまちづくりが欠かせないものとなっています。

課題

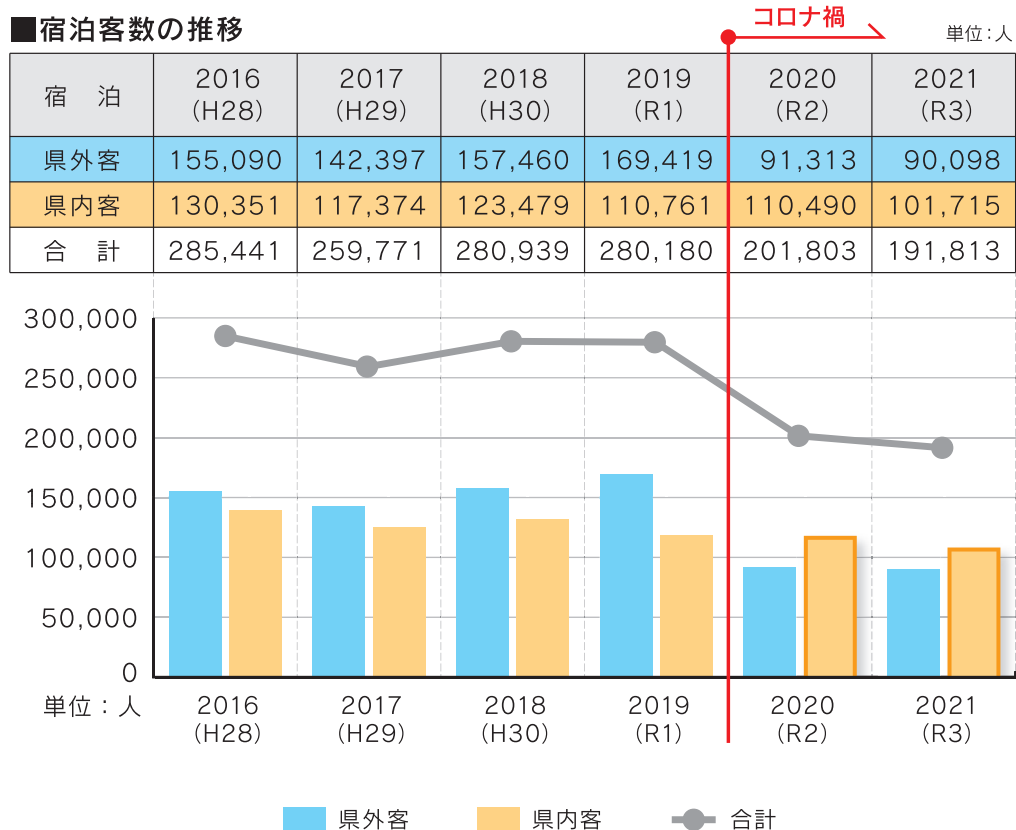
- 近年は自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響などにより観光需要が減退傾向にあり、本市における令和3年の宿泊者数は約19万人とコロナ禍前と比較すると大きく減少しています。
- 個人や少人数での旅行や混雑を避けた近場の旅行（マイクロツーリズム）の増加など旅行形態の変化、アウトドアブームや体験を求める傾向の高まりなどのニーズの多様化に加え、地域間の誘客競争が激しさを増しています。
- 国内需要が伸び悩む中で、増加が見込まれる外国人旅行者の誘客に向けて、国際化に対応した環境整備を行う必要があります。
- 観光拠点施設については、利便性向上のための情報発信機能の充実を図るとともに、効率的な施設運営のため、老朽化した施設の統廃合が必要です。
- マイクロツーリズム化の傾向などにより、日帰り旅行の増加や滞在時間が短縮する傾向にあるため、観光拠点の魅力向上と併せて、拠点における情報発信力の強化により周遊へとつなげ、観光消費の拡大を図る必要性が高まっています。
- 関係機関や交通事業者と連携した天草への交通アクセスの改善を図るとともに、さまざまな情報媒体を通してアクセス方法を広く周知する必要があります。また、ルートの提案により、市内や広域的な周遊を促進する必要があります。
- 観光地経営の視点に立ち、多様な関係者の合意形成、体系的なデータ収集・分析に基づいた実効性の高い戦略を策定するとともに、実行体制の強化などにより、観光振興を図る必要性が高まっています。
- これまでの観光振興施策は、全国的に感覚や経験などに基づいた取り組みが進められてきたといわれています。こうしたことから、データに基づいた戦略策定や事業展開などを行うことが重要となっており、今後は、データ分析に基づいて効果的に観光情報を発信することで誘客につながるよう取り組む必要があります。
- 本市では観光宿泊客調査や観光観光動向調査、車両ナンバー解析システムなどにより観光に関するデータの収集や分析を行っています。これらのデータを継続的に収集・分析することで有効に活用し、地域の「稼ぐ力」を引き出すことが必要です。
- 継続性の高い観光振興を図るためには、天草ならではの価値ある資源、「本物」の資源を市民に再認識していただくとともに、観光によるまちづくりに対する市民の理解を深め、共に創造することが重要です。そのために、観光事業者のリーダー育成をはじめ、市民の地域に対する愛着や誇りを醸成し、併せて、幅広い観光に関連する産業と連携しながら、継続性の高い稼げる観光によるまちづくりを推進する必要があります。

Ⅲ. 宿泊客数等の現状・推移

(1) 天草市宿泊客数

2021(令和3)年の本市の宿泊客数は191,813人(泊)となっています。2018(平成30)年の「天草の崎津集落」の世界文化遺産に登録に向けて徐々に増加していき、2019(令和元)年まではその水準をキープしましたが、2020(令和2)年、2021(令和3)年は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け大きく減少しています。

また、2020(令和2)年以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、近場を旅するマイクロツーリズムが主流となったことに加え、県内旅行に限定した宿泊助成が行われたことから、県外客と県内客の割合が逆転しています。



(2) 外国人宿泊者数

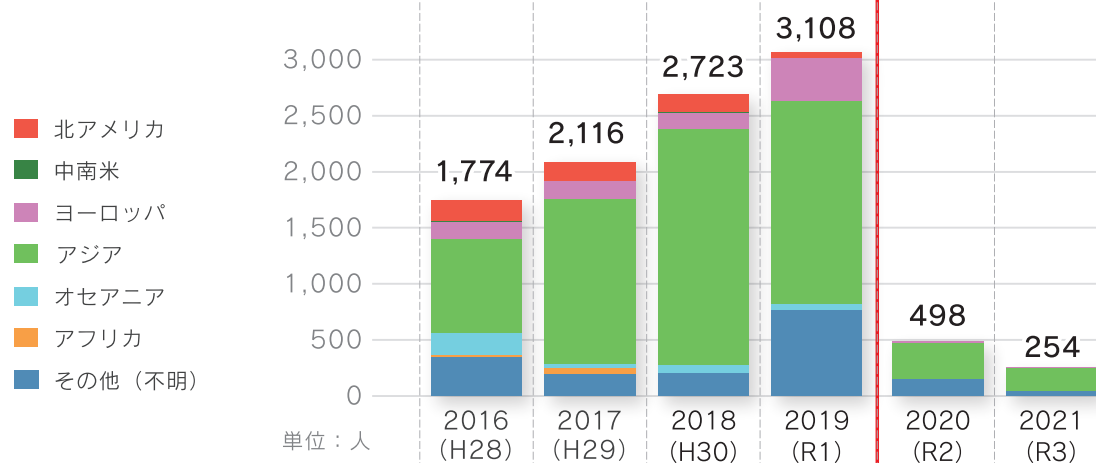
本市の外国人宿泊者数は、2016(平成28)年から年々増加し、2019(令和元)年には3,000人を超えるまでになりました。しかし、2020(令和2)年、2021(令和3)年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、外国人の入国制限などが行われたことから大きく減少しました。

地域別に見ますと、アジアの割合が大きく、近年はベトナム人の宿泊者が最も多くなっています。

■外国人宿泊者数（地域別）

地域	国・地域等	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	
北アメリカ	アメリカ合衆国	159	170	135	49	7	0	
	カナダ	38	2	28	11	0	0	
中南米	メキシコ	0	0	2	0	0	0	
	中南米 その他	8	3	0	2	0	0	
ヨーロッパ	イギリス	12	34	17	14	3	0	
	フランス	17	35	60	88	3	0	
	ドイツ	47	50	24	24	0	0	
	イタリア	18	1	2	6	0	1	
	オランダ	13	11	21	7	0	0	
	スイス	10	0	2	6	1	0	
	スウェーデン	2	4	0	9	0	0	
	旧ソビエト連邦	2	0	1	0	0	0	
	スペイン	0	0	0	6	0	2	
	ポルトガル	0	0	0	4	0	0	
	ヨーロッパ その他	25	22	15	215	2	0	
	アジア	中国	229	247	447	629	42	6
		台湾	255	307	473	260	51	0
香港		152	242	614	316	126	0	
大韓民国		106	354	419	323	25	0	
フィリピン		24	73	33	1	10	0	
インド		3	3	1	0	2	0	
タイ		10	27	48	28	1	0	
インドネシア		27	122	7	4	10	12	
マレーシア		4	29	18	14	2	1	
シンガポール		29	84	65	66	0	0	
マカオ		0	0	0	8	0	0	
ベトナム		0	0	0	190	62	189	
アジア その他		20	10	17	2	0	0	
オセアニア		オーストラリア	197	10	63	54	1	0
		オセアニア その他	4	29	4	0	0	0
アフリカ	アフリカ	11	54	8	0	0	0	
その他（不明）	その他（不明）	352	193	199	772	150	43	
合計		1,774	2,116	2,723	3,108	498	254	

コロナ禍



第3章 計画の基本的な考え方

I. 目指す姿・テーマ

学び、深めて、感じる 天草

ここにあるそのままの価値を磨き持続可能な天草を目指す

自分にとって本物って何か？ 一人ひとりが考えてほしい。

知っていることを実感できる場であり、この地に来て

感じてほしい天草がある

この素晴らしい天草を学び、後世に引き継ぎ、

“子どもたちに誇れるか”をキーワードに

観光のまちづくりを深め、住むひと・おいでになるひと

皆がのさりを感じる宝島天草

II. 目指す成果

本プランを推進するために数値目標を設定します。

成果とする指標	現状値	前期目標値
1. 宿泊客観光消費額	51億6,207万円 2021(令和3)年	81億51万円 2025(令和7)年
2. 観光拠点施設等への来訪者数	745,183人 2021(令和3)年	852,533人 2025(令和7)年度
3. 宿泊客数	19万1,813人泊 2021(令和3)年	30万1000人泊 2025(令和7)年

※第3次天草市総合計画 施策計画1～3成果指標

※宿泊客観光消費額は、宿泊客1人当たりの観光消費額（令和3年熊本観光統計表）
26,912円を基に算出しています。

Ⅲ. 施策の体系

学び、深めて、感じる 天草
ここにあるそのままの価値を磨き持続可能な天草を目指す



基本施策

Ⅰ. 地域資源を活かし周遊・滞在・交流につなげる「魅力づくり」

(1) 地域資源の磨き上げ

- ① 世界文化遺産「天草の崎津集落」
- ② 歴史・文化
- ③ イルカと共存できる環境
- ④ 多彩な食材を活かした食
- ⑤ 自然景観
- ⑥ アクティビティ・体験学習・アウトドア
- ⑦ 新たな観光需要への対応

(2) 観光消費額向上の取り組み

- ① 周遊による滞在時間の延長
- ② 観光資源・サービスの高付加価値化
- ③ 教育旅行誘致
- ④ インバウンド誘致

Ⅱ. 周遊と滞在を促進する「観光インフラ」の充実

(1) 市が所管する観光施設の現状と利活用

- ① 観光施設の整備と統廃合
- ② 機能の充実

(2) 観光客の受け皿の充実

- ① 民間活力による設備投資
- ② 異業種間の連携
- ③ 観光DXの推進
- ④ 観光推進体制・組織
- ⑤ 人材育成

(3) 交通の利便性の向上

- ① 公共交通による周遊
- ② 快適な道路環境の整備

Ⅲ. ニーズを把握し、誘客へつなげる「観光プロモーション」

(1) データ収集と情報発信

- ① データの収集・分析
- ② データに基づく戦略立案
- ③ 効果的なプロモーション
- ④ 観光物産展等による情報発信
- ⑤ フィルム・コミッション活動

(2) 市民へ向けたプロモーション

- ① 市民向け情報発信
- ② シビックプライドの醸成
- ③ おもてなし意識の向上

第4章 観光の振興

I. 地域資源を活かし周遊・滞在・交流につなげる「魅力づくり」

本市は、雲仙天草国立公園にも指定されている自然景観をはじめ、野生のイルカと共存できる環境や白亜紀地層の化石採集等の体験、天草独自のキリシタン文化や多彩な農林水産物など、豊富な地域資源に恵まれています。

この「本物」の資源を継続的に磨き上げるとともに、「学び」などの観点を取り入れ、新たなニーズに対応したコンテンツの掘り起こしを行うことで魅力の向上を図ります。

また、これらの豊富な地域資源を巡る周遊のための取り組みや、インバウンドや教育旅行の誘致に取り組み、選ばれる観光地、稼げる観光地を目指します。

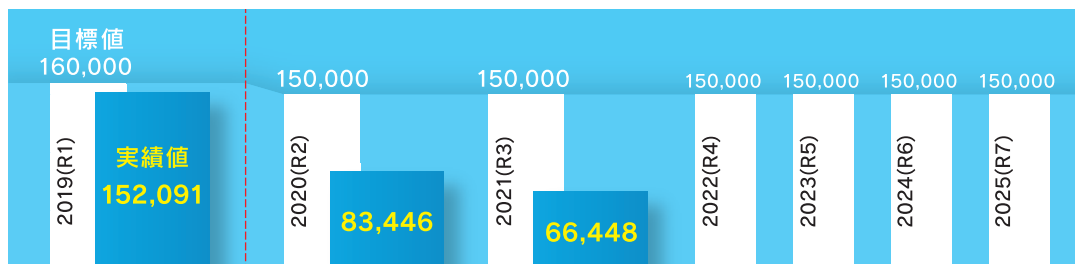
(1) 地域資源の磨き上げ

① 世界文化遺産「天草の崎津集落」

世界文化遺産登録から4年が経過しましたが、今後も崎津集落の歴史や世界文化遺産における価値を丁寧に伝えるなど、来訪者の理解や満足度の向上に取り組むほか、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を構成する長崎県の自治体とも連携し、誘客の促進を図ります。

●崎津集落入込客数(案内でのカウント数)

単位:人



●2019年12月 新型コロナウイルス感染症1例目報告

NPS®とは

Net Promoter Score(ネット・プロモーター・スコア)の略で、人にすすめる度合いを数値化したもの。顧客推奨度とも言われる。天草市観光動向調査により算出する。

☑算出方法

どの程度親しい人にすすめたいと思うかを問い、0～10点の11段階で回答してもらう。その点数に基づき、9～10点の方を「推奨者」、7～8点の方を「中立者」、0～6点の方を「批判者」に分類し、回答者全体に対する推奨者の割合から批判者の割合を引いて算出する。



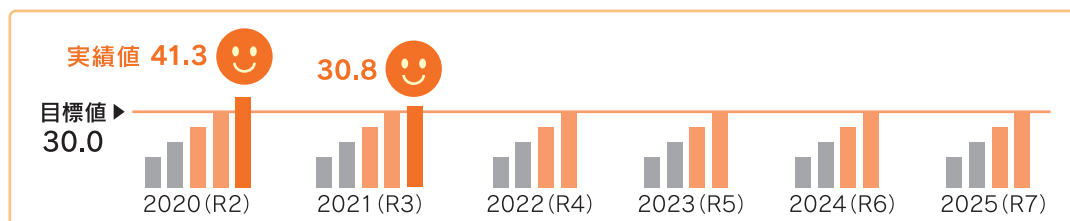
② 歴史・文化

「島原・天草一揆」に代表されるキリシタンの歴史や南蛮文化、国内生産の約8割を占める天草陶石、全国のハイヤ系民謡のルーツと言われ、江戸時代から唄い継がれてきた「牛深ハイヤ」など、天草には日本の他地域には無い「本物」の歴史や文化が数多く存在します。

近年、各種調査でも、歴史・文化は天草を訪れる理由の上位に位置づけられていることから、これらを観光資源として活用することで誘客の促進を図ります。



●観光動向調査(アンケート)で来訪目的が「歴史探訪」と回答された方のNPS®



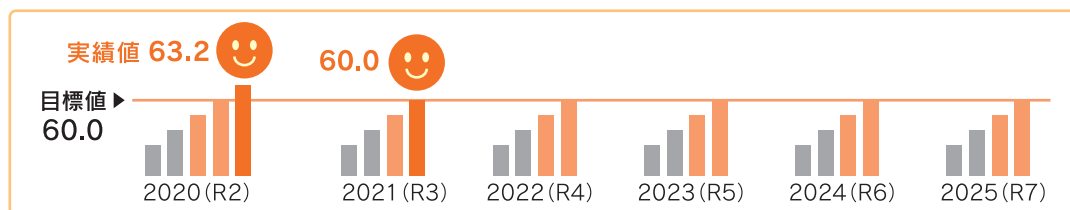
③ イルカと共存できる環境

イルカが暮らす天草の海は本市の大きな観光資源となっていますが、単にイルカを観ることにとどまらず、野生のイルカが生息し続ける意義、漁業者との共存の歴史をあわせて発信することにより、観光だけでなく環境学習の面からも誘客を図ります。

また、今後もイルカが生息し続けるための環境保全、観賞におけるルール順守の徹底など、持続可能な観光の取り組みを推進します。

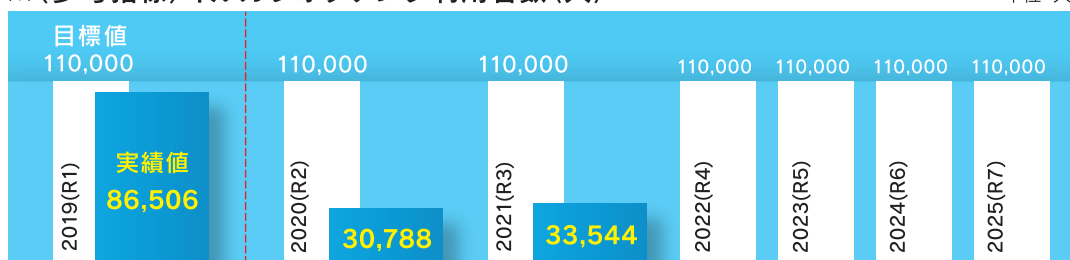


●観光動向調査(アンケート)で来訪目的が「イルカウォッチング」と回答された方のNPS®



※(参考指標)イルカウォッチング利用者数<人>

単位:人



●2019年12月 新型コロナウイルス感染症1例目報告

●環境保全等の取り組み事例数(五和地域における海岸清掃の回数等) 単位:回

	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	5	5	5	5
実績値				

④ 多彩な食材を活かした食

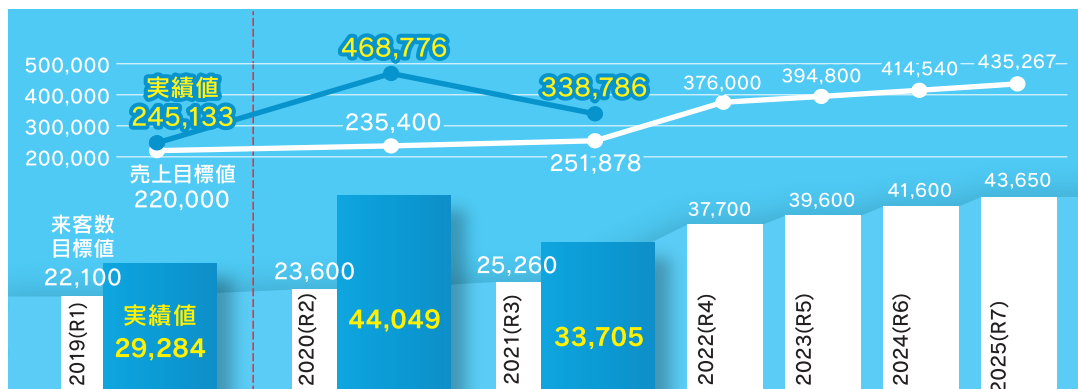
天草は多彩な農水産資源に恵まれ、食材の宝庫であることから、天草ならではの各種グルメフェアなどを継続して開催するとともに、観光客のニーズに応える新たなメニューの開発や食材を検討し、人気の高い食を目的とした誘客やリピーターの増加に取り組みます。

その一方で、海産物などの限りある資源については、資源の保護や生育環境保全にも取り組むなど、持続可能な観光まちづくりを推進します。



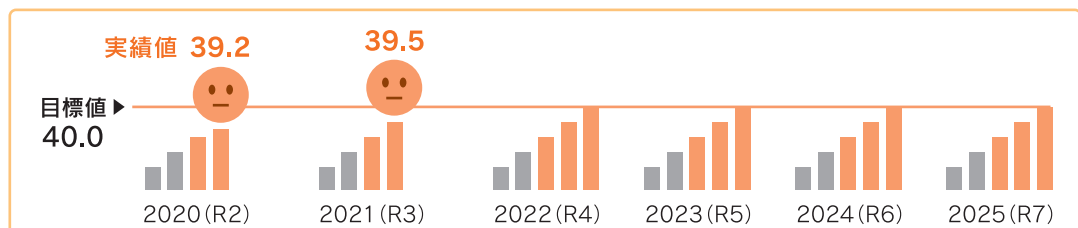
●グルメフェア来客数(人)・売上(千円)

来客数単位:人 / 売上単位:千円



●2019年12月 新型コロナウイルス感染症1例目報告

●観光動向調査(アンケート)で来訪目的が「食事」と回答された方のNPS®

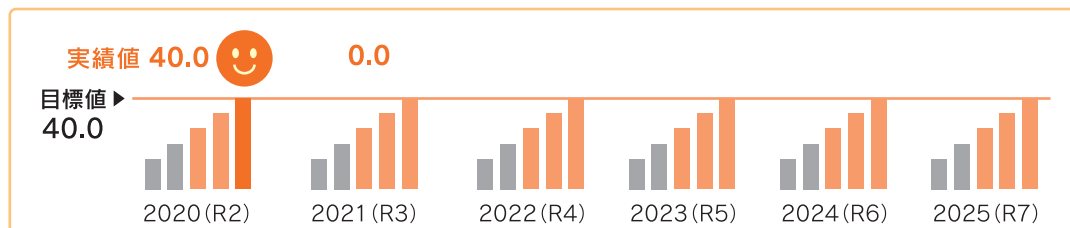


⑤ 自然景観

天草ならではの海を望む景観や、夕陽や山などの雄大な自然に癒しや心のうるおいを求めて天草を訪れる方も増えていることから、そのスポットの情報発信や楽しみ方の提案により誘客を図ります。

また、2026(令和8)年に国立公園指定から70年を迎えることから、国立公園の魅力を発信し、70周年への機運を高めます。

●観光動向調査(アンケート)で来訪目的が「登山」と回答された方のNPS®



⑥ アクティビティ・体験学習・アウトドア

マリンレジャーをはじめとするアクティビティや体験メニュー等の情報整理を行うとともに、新たなコンテンツを発掘・造成し、これらを効果的に発信することで、誘客の推進に取り組みます。



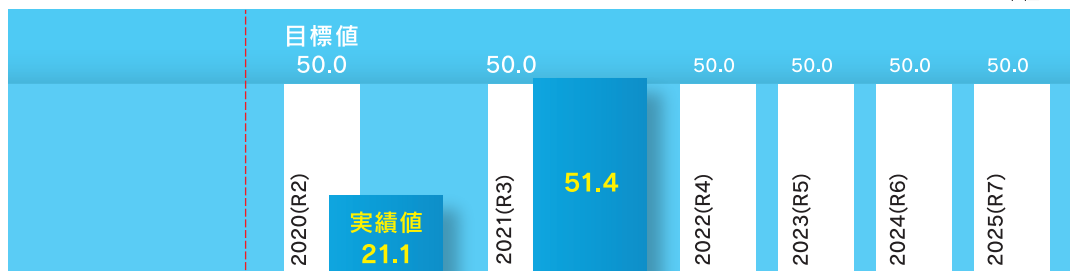
また、アクティビティや体験と宿泊や飲食などの他業種との連携により、参加者の満足度の向上を図り、誘客とリピーターの増加に取り組みます。

そして、近年、キャンプをはじめとするアウトドアがブームとなっていることから、ニーズを捉えた情報発信とともに、様々な楽しみ方に対応するメニューやプランの販売等により、誘客とリピーター確保を推進します。

●観光動向調査(アンケート)の来訪目的で「自然体験」「魚釣り」「登山」「サイクリング」「マリンスポーツ・海水浴」「キャンプ」と回答された方の割合の合計<%>

※複数回答可としているため、合計の数字が100%を超える場合があります。

単位:%



●2019年12月 新型コロナウイルス感染症1例目報告

⑦ 新たな観光需要への対応

近年、自然や文化といった観光コンテンツを活用し、地域が持つ価値の本質を深く体験・体感できるアドベンチャーリズムや、高齢や障害の有無にかかわらず全ての人を楽しめるユニバーサルリズム、仕事をしながら余暇を楽しむワーケーションなど新たな需要が生まれており、観光客のニーズも多様化・細分化しています。

そこで、新たな需要を迅速に把握するとともに、これまでは観光資源として認識されていなかったものの観光資源化や、地域のありのままの暮らしや体験のコンテンツ化など、地域資源の掘り起こしと情報の取りまとめを行い、新たなメニュー化に向けた取り組みを推進します。



●新たに設けた項目であり、数の把握が困難であるため指標は設けない。

(2) 観光消費額向上の取り組み

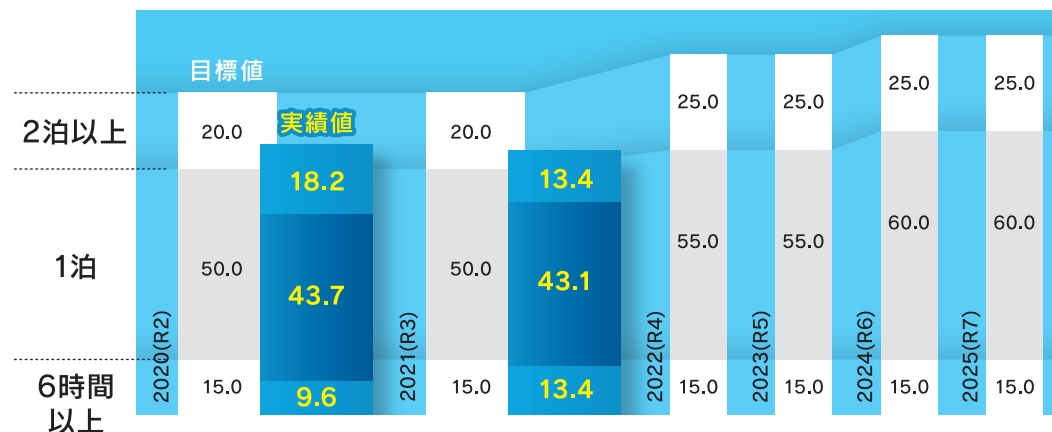
① 周遊による滞在時間の延長

本市は広域であるため、各地域に点在する観光資源をつなぎ合わせてパッケージ化するなど、市内を周遊してもらう仕組みを構築することにより、滞在時間の延長を図ります。

また、天草地域が一体となったオール天草での取り組みや、地域の特性などにより交流を行っている市町村や団体と連携した取り組みにより、広域での周遊を促し効果的な誘客を図ります。

●観光動向調査(アンケート)の「滞在期間」で

日帰り6時間以上・市内1泊・市内2泊以上と回答された方の割合<%> 単位:%



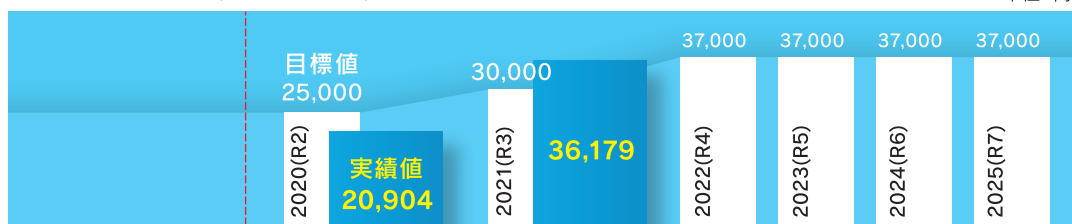
② 観光資源・サービスの高付加価値化

国内人口の減少や社会情勢の変化による旅行形態・動向の変化等により、旅行者数の大幅な増加は望めない状況が見込まれます。

こういった状況を踏まえ、単に観光客数の増加だけを目指すのではなく、現在も観光資源となっている素材の高質化や素材同士の組み合わせ、新たなサービスを加えることによる高付加価値化などに取り組み、観光消費額を増加させることで、持続可能な観光地域づくりを推進します。

●観光動向調査(アンケート)から算出した「平均消費金額」<円>

単位:円



●2019年12月 新型コロナウイルス感染症1例目報告

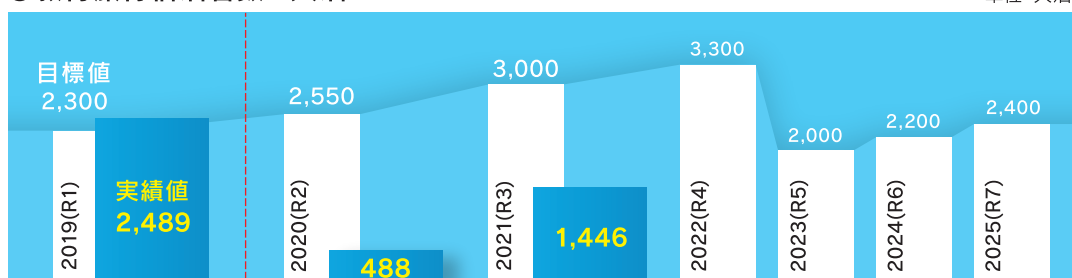
③ 教育旅行誘致

イルカウォッチングや化石発掘体験、田舎暮らしを体験する民泊など、天草ならではの豊富な体験メニューの魅力を発信するとともに、天草教育旅行受入協議会と連携した誘致活動など、教育旅行の誘致を推進します。

また、近年、環境学習やSDGsの視点による体験メニューが求められていることから、従来の体験メニューの再構築や情報発信などにより、新たな顧客の誘致を推進します。

●教育旅行宿泊者数<人泊>

単位:人泊



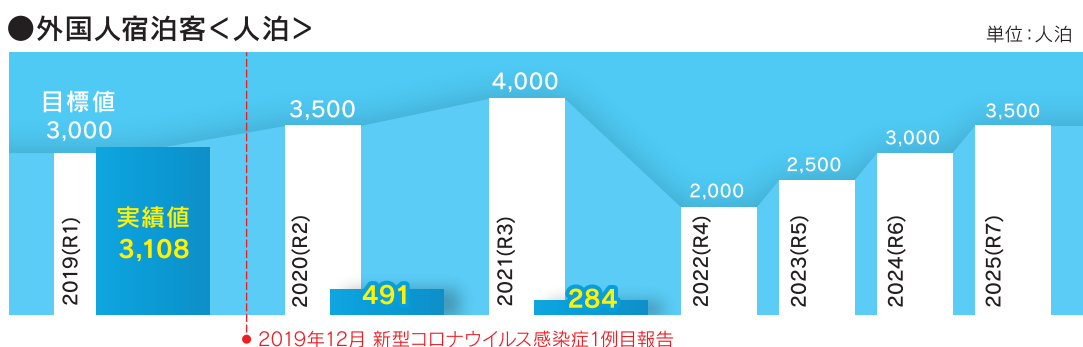
●2019年12月 新型コロナウイルス感染症1例目報告

④ インバウンド誘致

マーケティングに基づくターゲットの設定や効果的な情報発信、多言語化及び表記の統一などの受入態勢の整備を推進します。

また、近年、日本ならではのローカル感を求める旅行の人気も高まっていることから、天草の風土や暮らし、人的交流などを観光資源として発信するなど、関係機関と連携したニーズの把握や商品開発、情報発信を推進します。





II. 周遊と滞在を促進する「観光インフラ」の充実

道の駅などの観光拠点施設において、地域の特性を活かした取り組みや情報発信機能の充実など、独自の魅力づくりに努めるほか、老朽化施設の統廃合を進め、効率的な施設運営を行います。

また、関連部署や団体等と連携して、地域資源である景観の維持や、宿泊・飲食・物産・体験施設等と連動することで観光客の受け皿の充実を図るとともに、陸海空の交通事業者、旅行事業者等と連携し、観光客の利便性の維持・向上を図ります。

(1) 市が所管する観光施設の現状と利活用

① 観光施設の整備と統廃合

i) 既存の観光施設

既存の観光施設において、老朽化等により集客が見込まれない施設は、地域等の意見を参考にしながら、廃止や統合、規模縮小などの方向性を判断します。一方で、集客が見込まれる施設においては、施設改修に加え、公衆無線 LAN 環境や EV 急速充電器の整備など機能充実を図ります。

また、温泉施設などについては、施設ごとに調査を実施し、施設や設備の計画的な改修を実施するとともに、民間活力のさらなる導入を進めます。さらに、新たな観光拠点施設やターミナルなど近隣の観光施設と連携し、施設情報の発信に努め、誘客を図ります。

●観光関連施設数

単位：件

	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	56	56	56	56	51	50	50
実績値	56	56	55	53			

●観光関連施設改修箇所数

単位：件

	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	3	4	7	6	7	5	5
実績値	8	10	10	6			

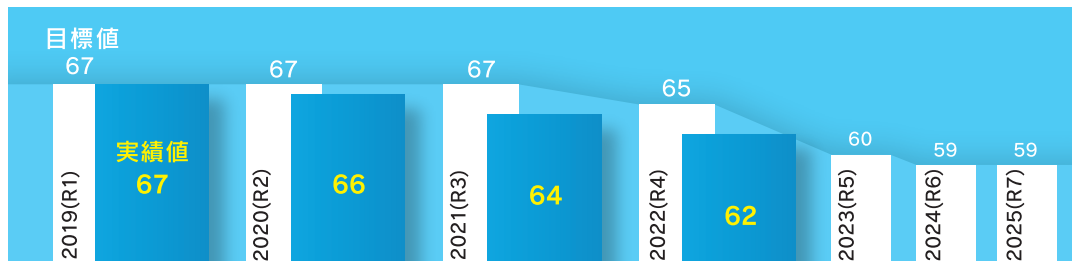
ii) 観光トイレ

民間や市観光振興課以外の部署が所管するトイレを含めた、観光ルート沿いにあるトイレの整備状況を把握したうえで、天草市公共施設の屋外トイレに係る整備方針に基づき整備を行います。

なお、老朽化が著しいトイレで、かつ、利用頻度が少ないと判断されるトイレは廃止します。

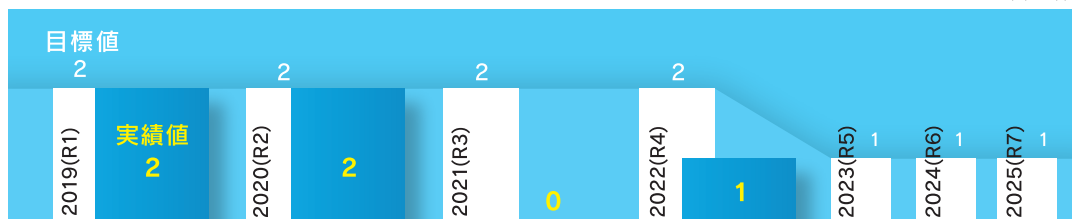
●観光トイレ施設数

単位：件



●観光トイレ施設改修箇所数

単位：件



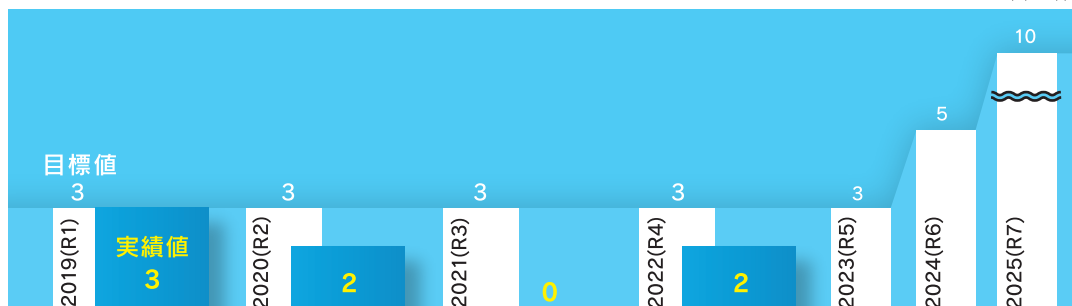
iii) 観光看板

観光客をスムーズに目的地に案内できる誘導看板や、周辺情報や地図などの観光情報を的確に伝える案内看板について、観光客の目線での検証を継続的に実施し、円滑な観光地への誘導を図ります。

また、今後増加が見込まれる外国人観光客に対応するため、必要に応じて施設表記および観光サインの多言語化を図ります。多言語化にあたっては、関連部署と協議のうえ、表記基準等を策定し、一定の基準に基づいた表記や統一的な訳語のルールづくりを目指します。さらに、デジタル情報の活用や施設案内のピクトグラムの整備にも着手し、外国人観光客を含め、利便性の向上を図ります。

●観光看板改修(多言語化・ピクトグラム整備含む)数

単位：件

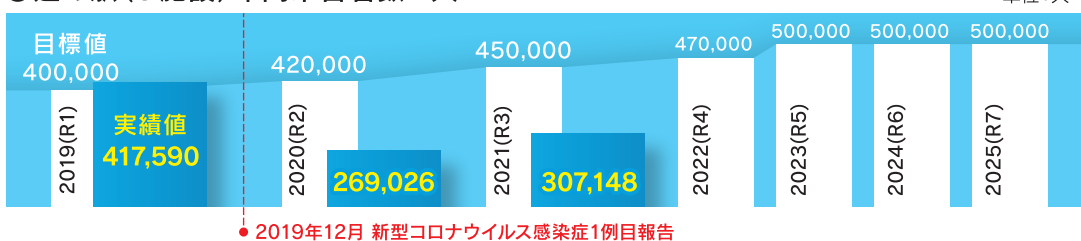


② 機能の充実

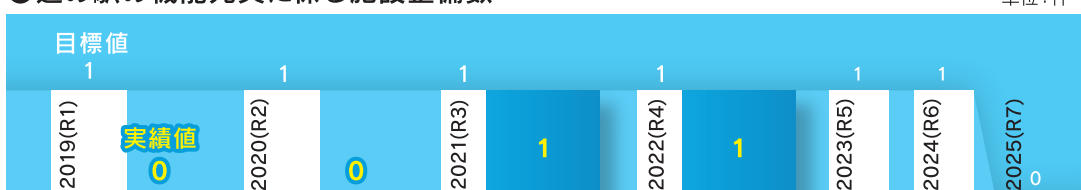
道の駅などの観光拠点施設については、情報発信機能の充実を図るとともに、地域や施設の特徴を活かしたサービスや商品の提供など、観光客のニーズを捉えた個性のある施設運営を推進します。

また、観光客だけでなく地元の方が求めるサービスや商品を提供するほか、防災面などをふまえた機能の充実を図ることにより、地域の方の利用も見込まれる施設運営を推進します。

●道の駅(5施設)年間来客者数<人>



●道の駅の機能充実に係る施設整備数



(2) 観光客の受け皿の充実

① 民間活力による設備投資の促進

旅行形態やライフスタイル等の変化により、観光客が求める施設も多様化していることから、民間活力によるニーズに対応した設備投資を地域一体となって推進していきます。

●宿泊施設支援実績<軒> 単位:軒

	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	13	15	15
実績値			

② 異業種間の連携

宿泊・飲食・物産・体験等の観光事業者間ではもとより、農業や漁業といった第一産業とも連携することにより、サービス・プランの充実など多様な旅行者のニーズに応える取り組みを推進していきます。

また、連携に向けて異業種の方が顔を合わせ、交流が生まれるような機会の創出を促進していきます。



●ATC会議等開催実数<回>

単位：回

	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
目標値	5	3	3	3
実績値	5			

●事業者連携数<件>

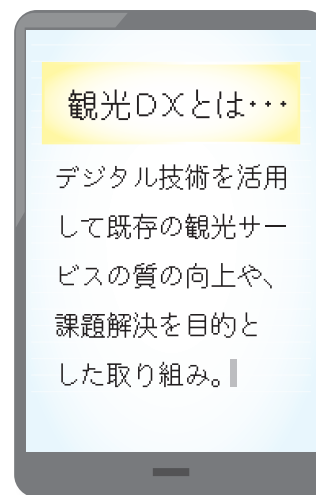
単位：件

	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
目標値	3	3	3
実績値			

③観光DXの推進

実際に現地に行かなくても旅行を楽しめるオンラインツアーや、VR・AR等の活用、オンライン予約、オンライン決済などをはじめとして、観光分野におけるデジタル技術の活用は多岐にわたっていますが、より価値の高い旅を提供するため、天草の地域性や課題に応じて必要なデジタル技術の活用を推進していきます。

また、Google ローカルガイドなど既存のWEBコンテンツの充実や、地域電子商品券の「天草のさりー」の観光分野における活用なども併せて推進していきます。

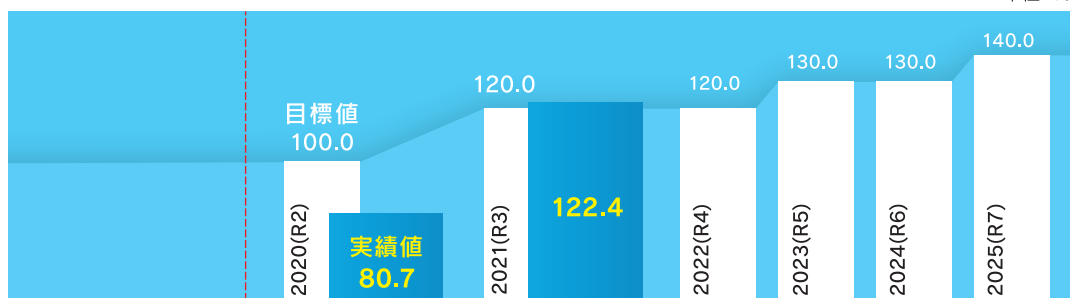


●観光動向調査(アンケート)の「観光情報入手方法」

においてデジタル媒体 [HP・SNS等] と回答した人の割合<%>

※複数回答が可能となっておりますので100%を超える場合があります。

単位：%



●2019年12月 新型コロナウイルス感染症1例目報告

④観光関係の組織

持続可能な地域づくりを推進するためには、地域の稼ぐ力を引き出す「観光地域経営」の視点に立ち、多様な関係者の合意形成、各種データの収集・分析による戦略の策定と実行力のある組織が必要となるため、中核となる組織のあり方、設立に向けた方策やロードマップ(計画)等について検討を行います。

●観光動向調査の実施[データの公開]<回>

単位：回

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	2	2	2	2	2	2
実績値	2	4	2			

●ATC会議等開催実数<回>

単位：回

	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	5	3	3	5
実績値	5			

⑤ 人材育成

観光産業においては、基盤となる人材の確保と育成を図ることが不可欠であり、雇用者の定着率を高める取り組みや、質の高いサービスを提供できる人材の育成のため、セミナーや出前講座などを関連団体等と連携して推進していきます。

また、地域の取り組みをマネジメントできる人材や、デジタルに精通した人材など、新たな時代に適合する人材の確保も推進していきます。

●人材育成関連講座、セミナー、視察等実施数(官民)<回>

単位：回

	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	1	3	3	3
実績値	1			

(3) 交通の利便性の向上

① 公共交通による周遊

本市を訪れる観光客の9割近くがマイカーでの来訪であるものの、飛行機やバスなどの公共交通機関利用者にも快適に市内を周遊していただくため、交通事業者と連携した周遊ルートの構築や短時間で乗り継ぎができるルートの検討を行います。

また、地域内における新たなモビリティサービスの導入なども検討を行い、より快適で持続可能な公共交通の構築を推進します。

●交通事業者等との連携(協議)実績<回>

単位：回

	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	5	5	5
実績値			

●周遊や乗り継ぎルート情報の発信<回>

単位：回

	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	5	5	5
実績値			

② 快適な道路環境の整備

マイカー来訪者が多い天草市にとって、道路は重要な観光インフラであるため、関係機関と連携して景観の整備や安全で快適なドライブを楽しんでいただける環境整備を推進していきます。

また、サイクリング客の誘客に向けて、天草地域が一体となって環境整備を推進していきます。

●関係機関との連携実績<件>

単位：件

	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	5	5	5	5
実績値				

Ⅲ. ニーズを把握し、誘客へつなげる「観光プロモーション」

多彩で魅力的な観光情報を伝え、来訪につなげるために、SNS やビッグデータを活用するとともに、宿泊客数調査や観光動向調査、車両ナンバー解析システム等で得られたデータに基づいた戦略的な手法・手段（マーケティング）を用いて、より効果的な情報発信（広告宣伝活動・観光プロモーション）を行います。

また、インナープロモーション（市民向けの観光情報発信）により、観光産業がもたらす地域経済への効果や、歴史・文化などの地域資源への再認識を促し、誇りや郷土愛を醸成することで、市民が自ら、観光客へのおもてなし・思いやりや観光情報を発信する力の強化に努めます。

(1) データ収集と情報発信

① データの収集・分析

日々変化する社会情勢に多大な影響を受ける観光産業において、現状把握と未来予測につながるデータの収集は重要であることから、すでに実施している宿泊客数調査や観光動向調査、車両ナンバー解析データの収集・分析に取り組んでいきます。

また、情報リテラシー（情報活用能力）の向上により、これらのデータを、行政はもとより民間事業者が今後の経営判断や設備投資にも活用できるよう、オープンデータ化を推進します。

② データに基づく戦略立案及び効果検証

これまでの感覚や経験に頼った事業推進から、本市を訪れる観光客に関する各種データの収集・分析により、さまざまな観光資源（分類）において、それぞれで明確となったターゲットとすべき顧客層に対する戦略を立案していきます。

また、この戦略の効果検証にも各種データの活用することで、精度を高めながら施策を推進していきます。

●観光動向調査（イメージ調査含む）の回数<回> 単位：回

	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
目標値	2	2	2	2	2	2
実績値	2	4	2			

●観光動向調査結果及び車両ナンバー解析データの公表件数<件> 単位：件

	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
目標値	10	14	14	14
実績値	9			



③ 効果的なプロモーション

インターネットや SNS の普及により、タイムリーで的確な情報発信が可能となったことから、年代や居住地、趣味嗜好などに基づいたターゲット設定を行ったうえで、本市への観光につながるような情報発信を推進します。

また、既存の新聞やテレビ、ラジオといった各種メディアについても、共通のターゲットの設定や WEB・SNS との連動を行いながら、効果的な活用を推進します。

●各種媒体を活用した情報発信数<回>

単位：回

	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	20	20	20	60	60	60	60
実績値	39	19	55				

④ 観光物産展等による情報発信

熊本市や福岡市をはじめとする都市圏など、ターゲットとすべき地域で開催される物産展等のイベントへの参加やアンテナショップの活用等により、天草の魅力を広く発信し誘客を図ります。

●観光イベント等への出展(店)実績<回>

単位：回

	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	3	3	3	5	5	5	5
実績値	1	0	0	4			

⑤ フィルム・コミッション活動

映画やテレビ制作等の支援を行うことにより、天草の魅力発信や本市への誘客のほか、地域の活性化を図ります。

●動画(映画・ビデオ・テレビ・CM等)撮影支援実績<件>

単位：件

	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	23	25	25	25	30	30	30
実績値	17	19	23				

(2) 市民へ向けたプロモーション

① 市民向けの情報発信

外へ向けて天草を売り出していくための基盤として、まずは市民が天草に愛着と誇りを感じる事が重要であるため、市民へ向けた観光情報の発信に取り組みます。

また、天草の地域経済発展のために観光がもたらす効果や今後果たしていく役割など、観光産業について市民の理解が深まるような情報発信に取り組みます。

●市民向け観光情報発信実績<回>

単位：回

	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	2	3	4	10	10	10	10
実績値	1	0	8				

② シビックプライドの醸成

市民への情報発信により、天草の歴史・文化・環境・人柄など、私たちが住む天草の素晴らしさを再認識していただくことで、誇りや郷土愛の醸成を促進します。

特に子どもたちには、自らの暮らす地域の学習を通じて、郷土愛が芽生え、将来の担い手育成にもつながる取り組みを推進します。

※指標は③と共通であるため、ここでは記載しない。

③ おもてなし意識の向上

シビックプライドの醸成により、市民が自ら観光客へのおもてなし・思いやりや観光情報を発信する力の強化に努めます。

●市民向け観光関連講座・講演等実施実績(官民)<回>

単位：回

	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
目標値	2	3	4	3	3	3	3
実績値	1	0	0				

第5章 アクションプラン策定と今後の検証

I. 施策の提案について

本プランに市民の意見を反映させるとともに、10年後、20年後の天草市を見据えた観光振興について検討するため、前期のアクションプラン策定時に若手の観光事業者などで構成する「天草市観光開発コンソーシアム（略称：ATC）」を立ち上げました。

今回も同コンソーシアムにおいて、プラン策定に向けての協議として5回の会議を開催し、グループワーク等を実施。観光振興を進めていくために取り組むべき施策などを中心に協議を行い、その結果の多くは本プランに反映されています。

天草市観光開発 コンソーシアムメンバー



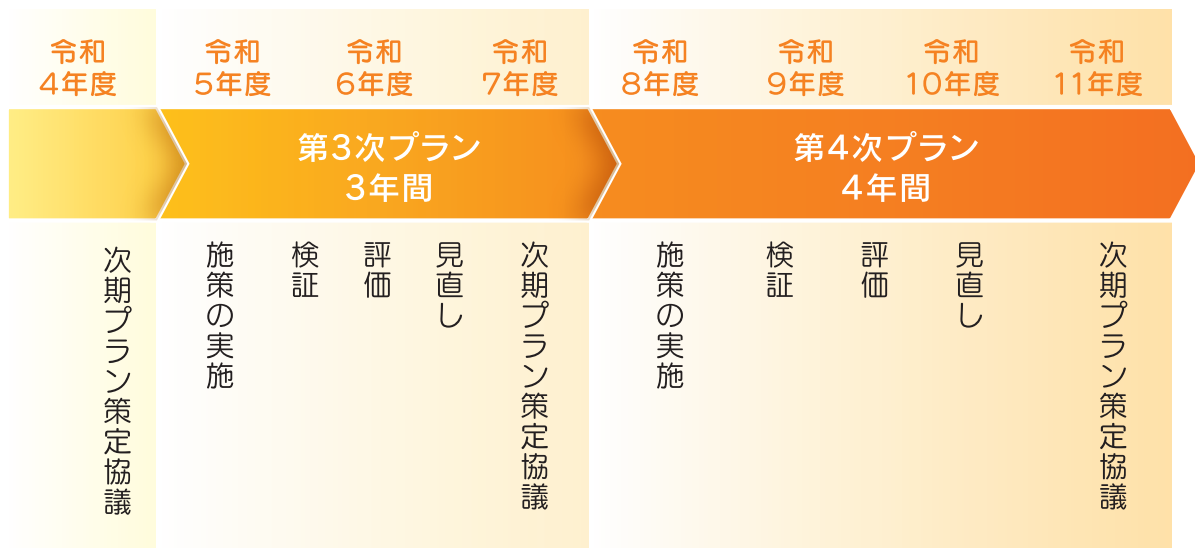
赤木聖一	池田晴香	浦上咲枝	野崎知美
江上 章	江上英輝	江崎 航	金子友理子
上 剛司	川崎茂雄	小山裕士	武内隆昌
中村 舞	錦戸啓人	野崎聖史	野原大介
原田竜一	蒔平友紀	益田賢治	松浦亜季子
宮崎 妙	安田量寛	山崎優美子	山下修平
山下幹生	山本秀磨	柴田知実	横山理恵
吉田大誠	吉田乃有季	吉永正敬	渡邊 隼
福田祐司	城下聡子	大塚純子	瀨崎美圭
吉田 綾	山崎寛子		

II. プランの検証等について

天草市観光開発コンソーシアムにおいては、次年度以降もアクションプランの検証や評価、意見交換を行うとともに、さまざまな社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて基本施策などの見直しや追加、優先順位やスケジュールの検討などを行っていきます。

また、このような活動を通して、アクションプランへの意見や提案すべき施策の集約を行い、次期観光振興アクションプラン策定の協議へつなげていきます。

◎天草市観光振興アクションプラン策定及び検証・評価のイメージ



天草市 観光施設一覧

温泉施設（6件）

牛深	牛深温泉センター
有明	リップランド公園(さざ波の湯)
栖本	栖本温泉センター
五和	総合交流ターミナル施設ユメール
天草	下田温泉センター
河浦	総合交流施設愛夢里

物産館（3件）

牛深	うしぶか海彩館
御所浦	御所浦物産館
倉岳	倉岳特産品展示販売交流施設えびす茶屋

宿泊施設（1件）

牛深	宿泊施設やすらぎ荘
----	-----------

バンガロー等（3件）

新和	緑の村バンガロー
河浦	産島バンガロー
河浦	河浦海上コテージ

キャンプ場（4件）

御所浦	黒島キャンプ場
新和	緑の村キャンプ場
天草	藍の岬キャンプ村
河浦	産島キャンプ場

海水浴場（12件）

本渡	本渡海水浴場
牛深	茂串海水浴場
牛深	砂月海水浴場
有明	四郎ヶ浜ビーチ
御所浦	黒島海水浴場
倉岳	えびすビーチ
新和	立海水浴場
五和	若宮海水浴場
五和	通詞島海水浴場
五和	黒崎海水浴場
天草	白鶴浜海水浴場

河浦 産島海水浴場

海水浴場付帯施設（19件）

本渡	本渡海水浴場更衣室
本渡	本渡海水浴場トイレ(国道側)
本渡	本渡海水浴場トイレ(アレグリア下)
牛深	茂串海水浴場更衣室トイレ
牛深	砂月海水浴場倉庫
有明	四郎ヶ浜ビーチ管理棟(西・東)
御所浦	黒島海水浴場トイレ
倉岳	えびすビーチ管理棟(トイレ込)
倉岳	えびすビーチ駐車場トイレ
倉岳	えびすビーチ西側トイレ
新和	立海水浴場トイレシャワー
五和	若宮海水浴場トイレ
五和	若宮海水浴場更衣室シャワー
五和	黒崎海水浴場更衣室トイレシャワー
五和	通詞島海水浴場更衣室
天草	白鶴浜海水浴場更衣室シャワー
天草	白鶴浜海水浴場円型休憩場
河浦	小高浜海水浴場トイレ
河浦	産島海水浴場トイレシャワー

公園（19件）

本渡	祇園橋小公園
牛深	遠見山公園
牛深	鶴葉山公園
有明	リップランド公園
有明	老岳山頂広場
倉岳	えびす公園
栖本	日本庭園
栖本	ふれあい公園
栖本	カヤツ丸公園
五和	鬼の城公園
五和	キリシタン墓碑公園
天草	轟公園
天草	十三仏公園
天草	西平椿公園
天草	下田温泉広場(足湯)
天草	さくら公園

河浦	チャペルの鐘展望公園
河浦	河内浦城址公園施設
河浦	コレジヨ公園

フェリーターミナル（4件）

本渡	本渡港ターミナル
本渡	本渡・水俣フェリーターミナル
新和	中田フェリー港案内所
五和	鬼池港フェリーターミナル

九州自然歩道（3件）

本渡	九州自然歩道
倉岳	九州自然歩道
栖本	九州自然歩道

観光交流センター（4件）

本渡	天草宝島国際交流会館ポルト
五和	天草市イルカセンター
天草	下田温泉ふれあい館ぷらっと
河浦	崎津集落ガイドセンター

観光トイレ（38件）

本渡	本渡港観光トイレ
牛深	遠見山公園トイレ
牛深	まつたけ公園トイレ
牛深	権現山公園トイレ
牛深	鶴葉山公園トイレ
牛深	六郎次山公園トイレ
牛深	魚貫観光トイレ
牛深	魚貫崎観光トイレ
有明	老岳山頂広場トイレ
有明	上津浦観光駐車場(南蛮寺)トイレ
倉岳	倉岳山頂広場トイレ
倉岳	大宮田クリーントイレ
倉岳	竜宮トイレ
倉岳	倉岳石垣散策トイレ
栖本	ふれあい公園トイレ
栖本	じゅうえん公園トイレ
栖本	浜公園トイレ
栖本	稚児崎海浜公園トイレ

栖本	城跡(招魂場)公園トイレ
新和	中田フェリー港トイレ
新和	はまほう公園トイレ
五和	鬼の城公園トイレ
五和	キッズガーデントイレ
天草	轟公園トイレ
天草	十三仏公園トイレ
天草	西平椿公園トイレ
天草	荒尾岳展望所トイレ
天草	鬼海ヶ浦展望所トイレ
天草	大江天主堂トイレ
天草	福連木スクールバス車庫横トイレ
天草	妙見浦トイレ
天草	中央公民館前バス停トイレ
天草	中央バス停トイレ
天草	高浜港トイレ
天草	ロザリオ館屋外トイレ
河浦	チャペルの鐘展望公園トイレ
河浦	チャペルの鐘展望公園下トイレ
河浦	崎津漁協前観光トイレ

夕陽八景（10件）

牛深	魚貫海岸の夕陽(ベンチ・標柱)
牛深	黒石海岸の夕陽(標柱)
牛深	小森海岸の夕陽(ベンチ・標柱・防護柵)
牛深	遠見山の夕陽(標柱)
天草	下田温泉の夕陽(標柱)
天草	鬼海ヶ浦の夕陽(標柱)
天草	十三仏の夕陽(標柱)
天草	大ヶ瀬の夕陽(ベンチ・標柱)
河浦	拝瀬・鳴瀬の夕陽(標柱)
河浦	マリア像の夕陽(標柱)

その他（4件）

本渡	鈴木三公像
五和	鬼池港花壇
天草	五足の靴文学遊歩道 関連施設
天草	大江天主堂花公園

合計 130件



天草市観光振興アクションプラン
2023(令和5)年3月

〒863-8631 熊本県天草市東浜町8番1号
天草市観光文化部 観光振興課